

序章	3
1 はじめに	3
2 俑について	4
3 陶俑研究史序説	5
4 本書の目的——南北朝隋唐陶俑研究への新たな視点——	9
第 I 部 南北朝時代の陶俑の様式変遷と地域性	
第 1 章 洛陽北魏陶俑の成立とその展開	15
1 はじめに	15
2 洛陽遷都以前の北魏陶俑	15
3 洛陽北魏陶俑に関する先行研究	17
4 洛陽北魏陶俑の特徴——紀年墓出土例を中心に——	19
5 洛陽北魏陶俑に関する諸問題	29
6 おわりに	33
表 洛陽遷都後の北魏陶俑一覧	35
図版	39
第 2 章 北朝鎮墓獸の誕生と展開——胡漢融合文化の一側面——	63
1 はじめに	63
2 北朝鎮墓獸の草創期——北魏平城時期——	64
3 北朝鎮墓獸の展開——二つの系譜——	68
4 おわりに——南朝への影響と隋唐への展開——	72
図版	74
第 3 章 南北朝時代における南北境界地域の陶俑について	91
——「漢水流域様式」試論——	
1 はじめに	91
2 対象墓葬分布と歴史背景	92
3 各墓葬の概要	94
4 陶俑に関する考察	96

5	各墓葬の年代をめぐって	105
6	おわりに——「漢水流域様式」とその意義——	109
表	漢水流域南北朝墓葬出土陶俑一覧	112
	図版	113
第4章	南朝陶俑の諸相——湖北地区を中心として——	145
1	はじめに	145
2	襄陽賈家冲南朝画像磚墓出土の陶俑について	146
3	武漢地区出土の南朝陶俑	149
4	おわりに	151
	図版	153
第5章	北齊時代の俑に見る二大様式の成立とその意義——鄴と晋陽——	161
1	はじめに	161
2	北齊俑の出土分布	162
3	鄴と晋陽の俑の比較——鎮墓俑を中心に——	164
4	北齊俑の制作技法	172
5	二大様式成立の背景とその意義——官営工房と生産体制——	174
6	おわりに	177
表	北齊陶俑出土墓葬一覧	178
	図版	181
第6章	北齊鄴地区の明器生産とその系譜——陶俑と低火度鉛釉器を中心に——	196
1	はじめに	196
2	北齊鄴地区の陶俑とその系譜	197
3	北齊鄴地区の低火度鉛釉器とその系譜	199
4	おわりに	209
	図版	211
第Ⅱ部 隋唐時代の陶俑への新たな視座		
第7章	隋俑考——北齊俑の遺風と新たな展開——	221
1	はじめに	221
2	隋俑に見られる北齊の俑の影響	221
3	隋俑の新たな展開——安陽張盛墓を中心に——	227
4	おわりに	234

表 隋俑出土墓葬一覧	235
図版	241
第8章 白瓷の誕生	254
——北朝の瓷器生産の諸問題と安陽隋張盛墓出土白瓷俑——	
1 はじめに	254
2 白瓷誕生に関する諸問題	254
3 安陽隋張盛墓出土の白瓷俑について	262
4 おわりに	264
図版	266
第9章 初唐黄釉加彩俑の特質と意義	272
1 はじめに	272
2 黄釉加彩俑の出土例	272
3 黄釉加彩俑の位置づけ	282
4 おわりに	288
図版	289
第10章 唐代邢窯における俑の生産とその流通に関する諸問題	313
1 はじめに	313
2 邢窯遺址出土の俑	313
3 河北唐墓出土の俑	315
4 邢窯初唐俑の流通	318
5 おわりに	320
表 河北地区出土唐俑一覧	322
図版	324
第11章 西安・唐代醴泉坊窯址の発掘成果とその意義	339
——俑を中心とした考察——	
1 はじめに	339
2 醴泉坊窯址について	340
3 出土遺物について	342
4 出土した俑についての考察	343
5 俑の年代について	351
6 俑の制作技法について	352

7 おわりに——醴泉坊窯址の位置づけをめぐって——	353
図版	358
第12章 唐時代の俑の制作技法について——陶範成形を中心に——	385
1 はじめに	385
2 唐時代の陶俑陶範の出土	385
3 陶範成形実験の概要とその成果	388
4 おわりに	390
図版	392
結 語	403

あとがき

初出一覧

索 引

序 章

1 はじめに

俑とは死者とともに墓に埋葬される副葬明器の一種であり、中国美術史研究において重要なジャンルの一つとなっている。いわゆる「兵馬俑」の副葬で知られる秦始皇帝陵や前漢景定陽陵などに代表される秦漢時代とならび、本書が対象とする南北朝から隋唐時代にかけては質量ともに俑生産の一つの黄金期であるといえることができる。実際、これまでの考古発掘により、この時期の各地の墓葬からは俑の出土例が続々と報告されており、その中には紀年墓資料も多く、時代ごと、あるいは地域ごとの造形的特質や様式変遷を解明する上で重要な資料となっている。

こうした豊富な出土資料の発見と蓄積を背景に、中国ではこの時期の俑の考古学的研究が早くから行われており、俑の種類や組み合わせ、特徴など類型学的考察を基礎とした考古学的方法論による詳細な研究が年々増えてきている。一方、南北朝隋唐時代の美術史研究において、陶俑に関する研究はそうした考古学的研究に比べ、極めて少ないのが現状である。こうした傾向は中国のみならず日本においても同様である。というのも、主として俑が范(型)による成形であることから仏教造像を中心とした彫塑(彫刻)史研究の中では重要視されにくいことや、また素焼き焼成されているという点から、とくに日本では伝統的に陶磁史の一ジャンルとして扱われやすいという点などがその一因と考えられる。

筆者は当初、同時代の仏教美術との関連を中心とした美術史的な視点からこの時代の陶俑に関心を持ち、さらにのちに陶磁史を研究することになってからは、陶磁史的視点からの研究も意識するようになった。そうした背景から、考古学的研究とは一線を画する、俑の造形特質や様式変遷、地域性などについて、実物調査を基礎とした美術史的、陶磁史的視点からの陶俑研究の確立が筆者の一つの目標となっている。美術史的に見て、これほど広範な地域で豊富な量が出土し、なおかつ紀年墓資料も少なくない俑は極めて格好の研究対象であるといえ、しかも皇帝陵や王侯貴族の墓葬出土品に代表されるように、「官営工房」⁽¹⁾とも呼び

(1) 『隋書』巻27・志第22・百官中には「光祿寺、掌諸膳食、張幕器物、宮殿門戸等事。(中略)又領東園局丞員。掌諸凶具」とあり、北斉の中央官衙の一つ光祿寺所管の東園局が「凶具」、すなわち墓に関するさまざまな器具を掌っていたことが分かる。『魏書』巻21上・獻文六王列伝第9上・趙郡王には「正光四年薨、給東園秘器、朝服一具、衣一襲、贈帛五百匹」と記されており、北魏時代にも「東園秘器」が皇室や功臣に下賜されたことがあったことが指摘されている(蘇哲『魏晉南北朝壁画墓の世界』白帝社、2007年、134頁)。また、『大唐六典』巻23の甄官署の説明に「凡喪葬則供其明器之屬、別勅葬者供、余並私備」とあり、唐代の俑をはじめとした明器が将作

うる宮廷に関連した工房の製品も多いと考えられ、時代性や地域性を代表する一つの貴重な美術作品であるということができよう。そこで本書では豊富な出土資料を有する南北朝から隋唐時代の陶俑について、その造形特質に見る地域性や様式変遷などの問題を明らかにすることによって、美術史や陶磁史の研究に新たな視点を提供しようと試みる。

本論に入る前に、南北朝隋唐時代を中心とした陶俑に関する研究史を概観するとともに、本書の目的について述べたい。

2 俑について

文献上に「俑」という語を探すと、春秋戦国時代頃まで遡ることができる。例えば、『孟子』梁惠王章句上には、「仲尼曰、始作俑者、其無後乎、爲其象人而用堯之也」とあり、趙楨による註には「俑、偶人也、用之送死」と記されている。また『礼記』檀弓下には、「塗車芻靈自古有之、明器之道也。孔子謂爲芻靈者善、謂爲俑者不仁、不殆於用堯人乎哉」とあり、鄭氏は「俑偶人也。有面目機發、有似於生人」と註釈している。

これら文献の記述から、俑は人を象った「偶人」であることが分かり、しかも当時のその形象はあたかも生きた人間のようであり、殉葬を想起させるということから道義上好ましくないものとされていたことが分かる。また、俑は死者とともに埋葬された副葬品、すなわち明器の一つであり、「用之送死」とあることから、死後の世界において死者の世話や面倒を見るといった役割があったこともうかがえる。

考古学上の遺例に見られる俑の初現については、河南省安陽殷墟の出土品中の人物像がしばしば紹介されている⁽³⁾。これに対して美術史家の宮川寅雄氏(1908-84)は、「人によっては、商代末期の安陽出土の黒陶人物像を、俑の最初の起源と考える向きがある。しかしこれは、明瞭に葬礼の副葬品である証拠がないから、ひとまず除外すべきであろう。もちろん、葬礼に無関係の呪術的小像や非宗教的偶像の存在は、古代世界にその事例を多く見ることができ、中国においても、例外ではない。そして、それらの偶像と明器・俑との間に関連がまったくないと断言できないが、ひとまず、用途と性格を異にするものとして、遺物的には戦国期

監の管轄の甄官署で制作されていたことをうかがわせる。本書ではこうした中央官衙が管轄した俑をはじめとした明器を制作した工房を便宜的に「官営工房」と呼ぶことにする。なお、こうした官営の工房以外に、民間でも俑をはじめとした明器などの「凶具」を扱う凶肆が存在したことが知られており(楊銜之『洛陽伽藍記』巻4・城西(法雲寺)「市北有慈孝、奉終二里、里内之人、以賣棺槨爲業、賃車而車爲事」。白行簡『李娃伝』など)、これらについては「民間工房」あるいは「民営工房」と呼ぶことにする。

(2) 日本における俑研究の草分け的存在といえる考古学者の濱田耕作(青陵)氏(1881-1938)は、中国の俑について次のように述べている。「支那の泥象は希臘のタナグラの泥象と同じく、当代の大芸術と社会的生活を反映せる小芸術なり、小社会なり。此の謙讓にして可憐なる形像は、之を美術的作品として愛玩するに足る可く、歴史の参考として貴重するに余あり」(濱田耕作編『支那古明器泥象図説』桑名文星堂、1925年、46頁)。

(3) 王仁波「中国歴代の陶俑について」朝日新聞社編『中国陶俑の美』朝日新聞社、1984年、1頁。

あとがき

本書は、平成25年3月26日付けで帝塚山大学より博士(学術)の学位を授与された論文『中国南北朝隋唐陶俑の研究』に、若干の加筆・訂正を加えたものであり、平成26年度日本学術振興会科学研究費補助金(研究成果公開促進費〈学術図書〉)の交付を受け出版するものである。

学位論文審査にあたっては、帝塚山大学大学院人文科学研究科の関根俊一教授(主査、現奈良大学文学部文化財学科教授)、同大学院人文科学研究科長の源城政好教授(副査)、奈良県立橿原考古学研究所の菅谷文則所長(副査)、京都橋大学の弓場紀知教授(副査、現兵庫陶芸美術館副館長)を煩わせ、ご指導をいただくとともに、出版に向けてもさまざまな貴重なご助言をいただいた。

本書は中国南北朝時代から隋唐時代までの俑に関して筆者がこれまで執筆した論文や研究発表したものを基礎に、それらを2部12章として再構成し、さらに序章や結語を加えたものであり、美術史、陶磁史双方からの新たな視点でこの時期の俑の様式的な変遷や地域性の問題などを明らかにすることを目的としたものである。

筆者は、国際基督教大学教養学部人文科学科においてJ. エドワード・キダー教授(現名誉教授)の指導の下、東洋美術史の世界に触れたのが、美術史研究の道へ進むきっかけとなった。その後、成城大学大学院文学研究科美学美術史専攻に進み、東山健吾教授(現名誉教授)の指導の下、中国美術史研究の世界に足を踏み入れたことは筆者にとって大きな転機となった。東山先生からは精緻な美術史的方法論や現地調査の重要性などさまざまなことをご指導いただいた。また同大学の上原和教授(現名誉教授)からも幅広い視点や現地調査の重要性など美術史研究の醍醐味をご教示いただいた。このように成城大学大学院時代には、多くの素晴らしい先生、先輩、友人、後輩に出会うことができた。

さらに、博士課程後期在学中には、北京大学考古系(現考古文博学院)に中国政府公費留学生(高級進修生)として2年間留学する機会をもつことができ、宿白教授と馬世長教授にご指導をいただけたことは筆者の研究者人生にとって大きな財産となった。留学中は蘇哲先生(現金城大学教授)や陶磁考古学の第一線で活躍されている秦大樹先生(現北京大学教授)をはじめ北京大学の多くの先生方とも出会うことができた。また、中国各地の調査では、一外国人留学生に現地の博物館や研究所の方々が多くのご便宜を図ってくださった御恩は終生忘れることはできない。

そして、縁あって平成9年(1997)より大阪市立東洋陶磁美術館の学芸員として仕事をスタートしてからは、伊藤郁太郎館長(現名誉館長)に公私にわたりご指導いただいたことは、筆者にとって大きな幸運であった。伊藤名誉館長には博士論文の執筆を約束してかなりの年月が経ってしまったが、つねに温かい目で叱咤激励していただき、筆者にとっては研究のみ

ならず人生の恩師であり、感謝の気持ちで一杯である。現在、こうして中国陶磁史の研究をできるのは、上司であり良き先輩でもある大阪市立東洋陶磁美術館の出川哲朗館長をはじめ職場の同僚、そしてまた日本・中国・韓国など国内外の研究者の先輩や友人らのおかげである。

博士論文の執筆にあたっては、成城大学大学院時代からの良き先輩である筑波大学大学院人間総合科学研究科の八木春生教授と静嘉堂文庫美術館の長谷川祥子主任学芸員にさまざまなご指導、ご助言をいただいた。また、大学院時代からお世話になっている弓場紀知先生には常に温かくご指導いただき、筆者の中国陶磁史研究の良き師の一人である。さらに、国立台湾大学芸術史研究所の謝明良終身特聘教授や愛知県陶磁美術館の森達也学芸課長は、中国陶磁史研究の尊敬すべき先輩であるとともに、同じ研究を志す同士としていつも多くの刺激と啓発を受けている。

現在、研究者としての自分があるのは、こうした諸先生、諸先輩はじめ多くのお世話になった方々のおかげであり、この場を借りて心より感謝申し上げたい。

これまでの永い年月にわたる陶俑研究の成果をこのような形で上梓することができたことは望外の喜びである。それと同時にこれまでの研究過程におけるみずからの不足も痛感しており、今後も引き続き陶俑研究に精進していきたい。本書が陶俑研究の理解と発展に少しでも貢献できることを願うばかりである。

最後になったが、本書の刊行にあたっては、株式会社思文閣出版の原宏一氏と田中峰人氏には、大変お世話になり、ここに心からお礼申し上げたい。

そして、私事ながら、長い学生生活を送らせてくれた両親、そして仕事や調査研究で不在がちな筆者をつねに温かく見守って支えてくれている妻と息子にも感謝したい。

平成27年2月吉日

小林 仁

初出一覧

本書のもとになった原稿の初出は下記のとおりである。なお、本書ではこれら発表原稿に加筆訂正を加え、さらに図版についても大幅に追加した。

第Ⅰ部 南北朝時代の陶俑の様式変遷と地域性

第1章 洛陽北魏陶俑の成立とその展開

(「洛陽北魏陶俑の成立とその展開」『美学美術史論集』第14輯、成城大学大学院文学研究科、2002年、221-246頁)

第2章 北朝鎮墓獸の誕生と展開——胡漢融合文化の一側面——

(「北朝の鎮墓獸——胡漢文化融合的一个側面—— [中国語]」山西省北朝文化研究中心編『4～6世紀的北中国與欧亚世界』科学出版社、2006年、148-165頁)

第3章 南北朝時代における南北境界地域の陶俑について——「漢水流域様式」試論——

(「中国南北朝時代における南北境界地域の陶俑について——「漢水流域様式」試論——」『中国考古学』第6号、日本中国考古学会、2006年、127-152頁)

第4章 南朝陶俑の諸相——湖北地区を中心として——

(「中国南朝陶俑の諸相——湖北地区を中心として——」『鹿島美術研究 (年報第20号別冊)』財団法人鹿島美術財団、2001年、315-329頁)

第5章 北齊時代の俑に見る二大様式の成立とその意義——鄴と晋陽——

(「中国北齊時代の俑に見る二大様式の成立とその意義——鄴と晋陽——」『佛教藝術』297号、2008年、43-70頁)

(中国語翻訳「中国北齊随葬陶俑兩大様式的形成及其意義」『文物世界』2012年第1期、42-54、66頁)

第6章 北齊鄴地区の明器生産とその系譜——陶俑と低火度鉛釉器を中心に——

(「北齊鄴城地区的明器生産及其系譜——以陶俑和低温鉛釉陶為中心—— [中国語]」中国古陶瓷学会編『中国古陶瓷研究 (第16輯)』紫禁城出版社、2010年、505-524頁)

(「北齊鉛釉器的定位和意義 [中国語]」『故宫博物院院刊』2012年第5期、104-111頁)

第Ⅱ部 隋唐時代の陶俑への新たな視座

第7章 隋俑考——北齊俑の遺風と新たな展開——

(「隋俑考」清水眞澄編『美術史論叢 造形と文化』雄山閣、2000年、345-367頁)

第8章 白瓷の誕生——北朝の瓷器生産の諸問題と安陽隋張盛墓出土白瓷俑——

(「白瓷の誕生——北朝瓷器生産的諸問題與安陽張盛墓出土白瓷俑—— [中国語]」中国古陶瓷学会編『中国古陶瓷研究 (第15輯)』紫禁城出版社、2009年、61-78頁)

第9章 初唐黄釉加彩俑の特質と意義

(「初唐黄釉加彩俑の特質與意義 [中国語]」北京芸術博物館編『中国鞏義窯』中国華僑出版社、2011年、347-360頁)

第10章 唐代邢窯における俑の生産とその流通に関する諸問題

(「唐代邢窯俑生産及流通相関諸問題 [中国語]」北京芸術博物館編『中国邢窯』中国華僑出版社、2012年、318-326頁)

第11章 西安・唐代醴泉坊窯址の発掘成果とその意義——俑を中心とした考察——

(「西安・唐代醴泉坊窯址の発掘成果とその意義——俑を中心とした考察——」『民族藝術』第21号、2005年、110-122頁)

第12章 唐時代の俑の制作技法について——陶範成形を中心に——

(「中国唐時代の俑の制作技法について——陶範成形を中心に——」『民族藝術』第30号、2014年、119-125頁)

索引

あ	う		
會津八一	6, 7, 17	烏桓	168
秋山進午	149	尉遲敬德墓	280, 315
阿形	167	宇文儉墓	225
安徽省博物館	235	宇文猛墓	225
安元寿夫妻墓	352	于保田	5
安康	72	梅原龍三郎	6
安康張家坎墓	72, 92, 95~99, 101~105, 108, 109, 112, 145, 148, 149, 151	咩形	167
安康長嶺墓	92, 94~100, 102, 103, 105, 108, 112, 145~147, 151	雲岡石窟	15, 16, 65, 204
安康歴史博物館	72, 92, 95		
安国市梨園唐墓	316	永固陵	66, 261
安史の乱	351	瀛州	162, 197
按盾	166, 167, 223, 225, 274	营州	319
安藤更正	15	影塑	30, 100, 104
鞍馬	94, 95	睿宗(唐)	355
安善夫妻墓	285	永寧寺→洛陽永寧寺	
安陽琪村隋墓	229	永平陵	163
安陽橋村隋墓	230	采陽市薛村遺址	286
安陽県固岸村北斉墓(M2)	169, 223	易水	99
安陽固岸墓地	198	易立	204
安陽市博物館	279, 320	笑窪	101
安陽市文物考古研究所	229	越窯	255, 257, 263, 313
安陽城	222	衣文(衣文線)	20, 32, 172
安陽小屯馬家墳隋墓	222	貞安志	72, 230, 235, 236, 239
安陽置度村8号隋墓	229	塩山県韓集鎮高窯村唐墓	316
安陸王子山唐墓	281	偃師杏園村北魏墓	22
安陸県博物館	281	偃師杏園唐墓(M911)	208, 277, 281
		偃師杏園唐墓(M923)	277
		偃師商城博物館	22, 28, 37, 38, 276, 278, 280, 286
		偃師商城博物館工地隋墓	262
		偃師南蔡庄郷溝口頭磚廠唐墓(90YMG M1)	276, 278~281
		偃師北窯楊堂墓	279
		袁勝文	257
		偃師連体磚廠2号墓(90YNLT M2)	22, 29, 257
		閻静墓	224, 238
		鉛釉器	196, 201, 203, 205, 206, 210, 260, 283
		鉛釉瓷	228
		鉛釉陶	258
		鉛釉陶器	259, 273
		鉛釉明器	204~206, 208
		円領	97, 98, 101, 169, 170
		お	
		王叔	207
		王温墓	26, 28, 29, 31, 37
		王会民	263, 313, 314, 323

索引

- 黄褐釉 343
 王幹墓 232, 237
 王季族墓 224, 235
 王去非 63, 342
 王銀田 65, 169, 222
 王君愕墓 273
 王建保 200, 201, 203, 260
 王克林 107, 180, 223
 王士通墓 274
 王綉 281
 王襄 6
 王士良・夫人、妾合葬墓 235
 王仁波 4, 348
 横吹 99
 翁仲 32
 王長啓 273, 348, 356, 357, 386
 王德衡墓 226
 王波 163
 王敏之 322
 黄釉加彩俑 12, 208~210, 228, 272, 274~276, 278, 279, 281~288, 319, 320, 404
 黄釉俑 281
 大型文吏俑 163, 230
 大阪市立美術館 7, 16, 17
 岡田朝太郎 7
 岡田健 18, 31, 33
 小川琢治 6
 小澤正人 145, 164, 198, 232
 母笮 389, 391
 折襟 101
 顎爾多斯博物館 222
 温綽夫妻墓 284
- か
- 外衣 26
 開元通宝 342
 開元年間 345~348, 351, 352, 387
 鎧甲 165, 166, 344
 外戚 163, 167
 灰陶 201, 317, 342
 河陰の変 31, 32, 34
 カオリン質 275, 277~281, 283, 317
 高領土 343
 化学分析 262
 郭学雷 255
 郭玉堂 25
 岳州窯 263
 郭祥墓 279, 315, 317, 319, 322
 郭定興墓 21~26, 35, 106
 花結 165
 加彩紅陶俑 274
 加彩陶俑 273~276, 280, 283, 285, 287, 317
 加彩白胎俑 227
 重ね焼き 207, 230, 257, 261
 下賜(品) 3, 25, 165, 174, 177, 276, 282, 354, 355, 391
- 賈思伯墓 24, 36, 104
 下裳 23, 101, 171
 賈進 178
 画像埴 94~97, 99, 100, 105, 107, 110, 147, 174
 画像埴墓 11, 91, 95, 107~110, 146, 148, 149, 151, 173
 笮(型) 3, 15, 20, 23, 25, 147, 161, 170~172, 176, 223, 230, 314
 笮成形 173
 肩脱ぎ 22
 甲冑 27, 165, 167, 345, 348
 褐釉 342
 河南省博物館 179, 223, 229, 254, 264
 河南省文物考古研究所 169, 179, 207, 259, 261, 262, 286
 河南博物院 9, 280
 賀拔昌墓 166, 173, 175, 179
 賈宝 178
 河北省正定県文物保官所 238
 河北省滄州地区文化館 24
 河北省博物館 23, 35, 165
 河北省文物研究所 8, 21, 32, 69, 105, 107, 172, 179, 223, 314, 316, 322
 窯道具 201, 342
 窯割れ 390
 亀井明德 200
 ガラス器 199, 205, 207, 209, 256, 258, 260
 賀婁悦墓 166, 168, 169, 179
 川勝義雄 148
 川島公之 6, 7, 32
 官宮工房 3, 4, 24, 174~177, 197, 198, 200, 202, 203, 276, 283, 288, 355, 356, 385, 387, 404
 韓裔墓 164, 168~171, 173, 180, 224
 桓温 151
 漢化政策 18, 21, 27, 31, 176
 韓貴和墓 235
 還元 228
 寬袖 98, 149, 150, 169, 173
 甘肃省秦安県唐墓 347
 甘肃省博物館 347
 環首刀 21
 鑑賞陶(磁)器 7
 漢水流域 11, 72, 91, 92, 96~102, 104~107, 109, 110, 112, 145, 146, 148~152, 403
 漢水流域様式 11, 91, 109~111, 145, 403
 ガンダーラ彫刻 6
 関中(関隴) 70~73, 151, 198, 204, 221, 223, 224, 227
 漢中 72
 漢中崔家营墓 72, 92, 95, 96, 98~106, 109, 112, 145, 148, 403
 漢中市博物館 72, 92, 97, 98, 145
 関中地区 71, 204
 関中窯 256
 漢白玉 321
 咸平寺址 232
 觀鳳鳥 313~316, 320, 322

雁北師院墓(M2)	64, 66	渠川福	163
漢民族	67, 68, 73, 149	金雜諾	104
漢民族化	67, 68, 163, 223	金銀器	207, 209
漢民族式服制	21, 28, 176	金彩	172, 208, 209, 275, 285
官窯	288	金屬器	199, 205, 256, 258, 260
咸陽師專墓	70		
咸陽市文物考古研究所	70, 237	<	
咸陽博物館	71	空海	350
咸陽平陵十六国墓	70	空心(中空)	112, 225, 390
閔林唐墓(M1289)	277	偶蹄	224
		屈突李礼墓	284
き		『旧唐書』	354
姬威墓	225, 226, 238, 263	供養者像	16, 23, 65, 100, 176
伎楽俑	27	軍閥	198, 221
氣賀澤保規	25, 227, 281		
機器中性子放射化分析(INAA)	343	け	
儀魚	315, 316, 320, 322	慶山寺舍利塔基	350
畦厚	322	倪潤安	10, 31, 70, 71, 73, 225
魏興郡	93	邢台威皇后郭固唐墓	316
冀州	162, 197	『景德鎮陶録』	256
『魏書』	3, 21	邢窯	12, 203, 207, 263~265, 282, 313, 315, 317~321, 339, 349, 404
儀仗隊伍(鹵簿)	164, 169	邢窯博物館	313
儀仗刀	230, 264	景陵	19, 32, 202, 204, 255, 259, 261, 265
儀仗俑	99, 112, 224	惠陵	355
牛車(出行)	94, 112	戟架制度	69
儀刀	98, 147	袈裟	349
紀年磚	95, 108, 110	化粧掛け	389
跪拜俑・跪伏俑	315, 316, 355	化粧土	202
熙平年間	19	元暉	36
窮奇	72, 146	元威・夫人于氏合葬墓	237
牛弘	227	元睿墓	19~22, 35
牛相仁墓	284	元擇墓	24, 25, 36
宮大中	231	甄凱	35
供器	350	元义墓	25, 36
鞏義黃冶窯	262, 265, 284, 339, 343, 344, 349, 351, 353, 385	甄官署	3, 4, 174, 198, 288, 320, 354, 355
鞏義芝田、孝北食品公司唐墓(88HGZM13)	282, 315	建義年間	19
鞏義芝田唐墓	286	献県東樊屯村唐墓	316
鞏義芝田唐墓(88HGM89)	277	建康	145
鞏義市博物館	240, 265, 286	元祐墓	175, 256
鞏義白河窯	206, 207, 230, 261, 262, 265	元始宗墓	178, 256
鞏義窯	203, 282~284, 286, 287, 319, 320	元邵墓	18, 23, 26~29, 31, 33, 34, 37, 230
凶具	3, 4	玄宗(唐)	355
鞏県石窟	176	建築模型	279
恭皇后	355	『元和郡県図志』	222
凶肆	4, 354	元和年間	351
拱手	149, 150	元夫人	178
堯峻墓	167, 168, 171, 178, 276	乾陵博物館	9, 287
姜捷	342, 344, 386, 388	元良墓	165, 167, 170, 171, 178
鄴城遺址	175		
鄴城考古工作隊	32	こ	
堯趙氏墓	205	高雅墓	205, 259
響銅	260	黄河路唐墓	319
響堂山石窟	176	高欽	163, 197
邛窯	339	孝感市博物館	281
		甲騎具装俑	173

索引

- 侯義墓 71, 226
 『考古』 8, 150
 高孝緒 179
 孔子 5
 高氏 163, 164, 197
 侯子欽墓 236
 高氏墓 23, 35
 高潤墓 167, 173, 179, 205, 256, 276
 孝昭帝(高演・北齊) 163
 孝昌年間 19
 侯掌墓 23~26, 31, 33, 35
 高宗(唐) 273, 277, 278, 284, 287
 厚葬(化)・厚葬文化 96, 166, 205, 210, 288, 354, 385, 391
 厚葬禁止令 385
 孝莊帝(北魏) 19, 32
 高足杯 342
 絞胎 342
 紅胎(俑) 230, 317, 320, 343, 344, 387
 江達煌 163
 高潭・夫人合葬墓 235
 高長命墓 256
 皇帝陵 3, 9, 33, 96, 99, 150, 163, 166, 172, 174, 197, 198, 255, 259, 355, 387
 浩喆墓 238
 紅陶 201, 206, 208, 229, 264, 287, 314, 389
 河野道房 167
 講武城 201
 孝武帝(北魏) 19
 康文通墓 209, 285
 孝文帝(北魏) 15, 16, 18, 21, 24, 27, 32, 68
 弘法大師 350
 高曼 348, 356, 357, 386
 孝明帝(北魏) 19
 合模(制) 15, 16, 22, 24~29, 31~34, 98, 101, 102, 172, 225, 348, 352, 387, 389, 390
 合模陶范 388
 江介也 108
 後梁王朝 93
 光祿寺 3, 34, 165, 174, 223
 鴻臚寺 165
 吳衛國 5
 吳王妃楊氏墓 281
 胡角 99
 『後漢書』 168
 胡漢融合(文化) 11, 63, 67, 73, 403
 黑彩 286
 黑瓷・黑釉瓷 261, 342, 387
 斛律徹墓 206, 223, 224, 237, 259, 263
 護耳 344
 五銖錢 94, 202
 吳守忠墓 345~347
 古順芳 16, 258
 胡人・胡商 16, 27, 66~69, 73, 148, 274, 276, 344
 胡人俑・胡俑 9, 22, 23, 27, 29, 35, 66, 94, 95, 97, 146, 149, 229, 235, 239, 240, 264, 279, 281, 287, 315, 317, 323, 346
 鼓吹隊 169
 胡姓 163, 176
 胡太后 24, 25
 國家博物館 281
 國家文物局 261
 庫狄廻洛墓 107, 164, 166, 167, 169, 170, 173, 174, 180, 223, 260
 庫狄業墓 166, 168, 180
 虎頭形兜鍪 279
 虎頭形帽 279, 280, 316, 317, 319, 320
 小林古徑 6
 小林太市郎 7
 胡服 16, 21, 26, 27, 34, 66, 97, 101, 105, 146, 169, 170, 176, 224, 276~278
 虎帽 313
 五味充子 346, 351
 古窯址 229, 264
 呼琳貴 18, 273, 282, 351, 353, 354, 356, 386
 五礼 227
 渾源窯 339
 渾脫帽 107
 さ
 西域 27, 66, 148
 西域文化 73
 載応新 199, 238, 261
 崔楷 37
 犀牛 72, 97, 146
 崔鴻墓 24, 36
 崔紘墓 347, 351
 崔暹墓 104
 崔氏 164, 197
 西市 353, 354, 356, 387
 崔氏墓 38, 104
 蔡須達墓 275, 281, 282
 崔大義夫妻墓 279~281
 崔大義墓 279~281, 315
 齊東方 263
 濟南市博物館 231
 崔昂墓 165, 205, 260
 寨里窯 200
 蔡和壁 234
 窄袖 171, 231, 232
 朔北地域 69
 ササン朝ペルシャ 28, 224
 雜技俑 66, 349
 佐藤サアラ 196, 197, 203
 佐藤雅彦 8, 10, 16, 17, 149, 200, 221, 225, 228, 229, 272, 287
 三彩 258, 259, 387
 三彩塼 351
 三彩仏像 350
 三彩俑 284, 343, 344, 352
 三彩窯址 265, 339, 387
 三彩羅漢像 350

索引

- 人首鳥身俑(人面鳥身俑) 313~316, 320
 仁寿年間 223
 神將俑 284, 344
 晋城窯 339
 深圳望野博物館 318
 秦大樹 229, 254
 秦廷棧 32, 106, 149
 神道石刻 231
 申文喜 229
 秦兵馬俑坑博物館 9
 人面鷄身俑 323
 深目高鼻 22, 28, 66, 276
 晋陽宮 163, 197
- す
- 推古会 6
 『隋書』 3, 174, 199, 209, 222, 227, 230, 234, 283
 隋文化 227
 水浴寺石窟 176
 素焼き 3, 11, 161, 172, 200~203, 210, 228, 230, 258, 259, 275, 278, 283, 286, 313, 314, 318, 320, 321, 342~344, 348~353, 387, 389, 403
- せ
- 西安韓森寨唐墓 346
 西安三橋何家東北魏墓 71
 西安市文物保護考古所 284, 285
 西安陝綿十廠唐墓(96十廠 M7) 345, 347
 西安草廠坡 1 号墓 70
 西安中堡村唐墓 348
 西安長安区韋曲鎮7171廠工地北魏墓 70
 西安頂益製面廠北朝墓 70
 西安南郊鷄場唐墓 348
 西安博物院 277
 西安俾失十囊墓 352
 青花瓷器 339
 井陘窯 339
 清源県主墓 346, 347, 351
 正光年間 19
 青瓷 196, 200, 202, 203, 205~207, 209, 210, 228~230, 233, 254~259, 261~265
 製瓷産業 264, 265
 青瓷四系罐 257
 青州 162, 197
 齊州 162, 197
 青瓷俑 230, 263
 静帝(北周) 198, 221
 正定県火車站街唐墓 316, 317
 青銅器 258
 成都万仏寺 101, 111
 青龍寺 349, 350
 静陵 32
 『世界陶磁全集』 8
 関口広次 203, 344, 385
 石獅子像 68
 石人 30, 32, 33
- 石彫供養龕(石彫龕) 65, 66, 169, 222
 石俑 96, 150
 石窟(寺院) 11, 15, 161
 鮮于庭誨墓 352
 塼画 99
 『山海経』 64
 染華墓 18, 25~28, 31, 37
 前漢景定陽陵 3
 前後双室墓 95
 禪讓 73, 163
 陝西省考古研究院(研究所) 9, 16, 70, 199, 204, 206, 236, 237, 282, 285, 313, 339, 340, 342, 345, 352, 355, 386, 388, 389
 陝西省博物館 275
 陝西省文物管理委員会 70
 陝西歴史博物館 94, 277
 尖頂帽 319
 陝南地域 110
 鮮卑語 176
 鮮卑人・鮮卑族 27, 31, 64, 67, 163, 164, 168, 170, 176, 196, 224
 鮮卑拓跋族 27, 66
 鮮卑風俗・鮮卑文化 16, 27, 34, 146, 170, 175, 176, 197, 223
 鮮卑服 176
 鮮卑帽 169, 176
 宣武帝(北魏) 19, 32, 204, 255, 259
- そ
- 双丫髻 20
 僧衣 349
 壯悍 176
 双環髻 343
 早期白瓷 254
 宋忻夫妻墓 225, 236
 宋馨 70
 双髻 26, 112, 171, 387, 389
 莊嚴 205, 207
 相州 222, 230
 滄州呉橋北齊墓(M3) 165
 相州窯 229, 230, 259, 263~265, 313, 404
 双首人面蛇身俑 323
 宋循墓 236
 宋紹祖墓 16, 64, 65
 送庄唐墓(C10M821) 280
 双人首龍(蛇)身俑・双人頭蛇(龍)身俑 316, 342
 曹臣民 65, 169, 222
 葬送習俗 385
 曹村窯址 200, 201, 203, 207, 210, 260
 双頭俑 315
 宋丙玲 169
 双模制 16, 225
 双螺髻 171
 双領罐 257
 僧侶像 349
 僧侶俑 228

則天武后	284, 288	段簡壁墓	274, 278
ソグド人	27	単色釉	287
ソグド文化	91	男装	348
祖思	342	単模(制)	16, 20~27, 29~31, 33, 34, 101, 102, 225, 352
楚式鎮墓獸	63	単螺髻	171
塑像	20, 23, 26, 30, 33, 100, 103, 105, 107, 111, 385, 403		
蘇哲	3, 10, 34, 68~70, 73, 161~166, 173~175, 197, 222, 223, 231	ち	
蘇統帥墓	313	地軸	63, 342
曾布川寛	18, 31, 33, 94	『茶経』	313
楚墓	63, 64	中央アジア	66, 259
祖明	63, 342	中空→空心	
疏勒草原	163	中国硅酸盐学会	255
孫機	176, 224	『中国古代鎮墓神物』	63
蹲踞型・蹲坐型	23, 65, 66, 68, 70~73, 97, 98, 105, 167, 226	『中国古代陶塑芸術』	32
孫建墓	315, 317, 322	中国古陶瓷学会	200, 201, 207, 260, 283, 313, 339
孫信墓	316, 320, 323	中国社会科学院考古研究所	8, 18, 19, 21, 30, 32, 69, 104, 105, 107, 172, 178, 204, 208, 223, 236, 237, 240, 256, 259, 262, 277, 278, 283, 345, 347, 354
孫則墓	282	『中国陶俑の美』展	8
		『中国の土偶』	8
た		『中国☆美の十字路展』	66
『大漢原陵秘葬経』	316	中国文化遺産研究院	261, 262
『大業雜記』	234	中国文物研究所	286
太原金勝村北齊墓	167, 170, 224	『中国明器泥象』	7
太原市文物考古研究所	163, 179, 180, 198, 224, 281	長安区南里王村唐墓	274
太行山脈	256	長安城(漢)	356
大興城	225, 356	長安城(唐)	273, 282, 283, 339~341, 343, 350, 353, 354, 385~387
大丞相府	163, 197	長安博物館	70
太昌年間	19	張海翼墓	166, 171, 180
大食人(アラビア人)	281	長角	99
大善墓	236	張家庫南朝墓	149
太宗(唐)	273, 284, 287	貼花文裝飾	199, 260
大同雁北師院北魏墓(M1)	257	張去逸墓	346, 348
大同迎賓大道北魏墓(M76)	16, 204	貼金	172, 173, 208, 209, 274~276, 279, 284, 285, 287, 288
大同市考古研究所	16, 65, 67, 204, 257, 258	貼銀	275
大同市城東寺兒村北魏墓	65, 169, 222	長裙	20, 231, 286
大同市博物館	16, 65, 66, 204, 222, 257~259, 261, 285	長江中流域	234
大同南郊北魏墓(M109)	259	張国柱	63, 273, 282, 340~342, 351, 353, 385~388
大同南郊北魏墓(M22)	257	趙胡仁墓	165, 166, 168, 175, 225, 259, 260, 316
大同二電廠北魏墓(M36)	16, 204	長沙窯	351
『大唐六典』	3, 63, 342, 354	張士貴墓	208, 228, 274~279, 284~288
太武帝(北魏)	257, 259	長治市博物館	343
太和年間	16, 65, 259	張志忠	260, 263, 313~315, 322, 323
高橋太華	5	趙志文	207, 261
高橋照彦	282	長治北石槽(M3)唐墓	318
拓跋夫妻墓	225	張肅墓	69, 168, 169, 179
唾壺	257	張樹軍	72, 92, 145
多色鉛釉	5	張小舟	70
多色釉裝飾	258, 288	張小蘭	255
巽淳一郎	257, 258	烏審旗翁滾梁北魏墓	222
タナグラ	4, 6	張臣合墓	344
田辺勝美	28	趙青雲	229
谷豊信	108		
鬚	347		

索引

- 張盛墓 11, 12, 207, 227, 230~234, 254, 262~264, 278, 286, 288, 313
- 張靜墓 235, 236
- 張岱海 102
- 張堪貢墓 347
- 澄泥為範 391
- 張枚墓 208, 277
- 烏藩旗翁滾梁北魏墓 65, 69
- 張文霞 63
- 趙明度墓 202, 260
- 朝陽市博物館 281, 282, 319
- 朝陽織維廠唐墓 319
- 長樂公主墓 208, 273, 283, 285, 287
- 陳寅恪 177
- 陳万里 8, 10, 64
- 鎮墓獸 11, 16, 21~23, 25, 33, 35~38, 63~70, 72, 73, 94~98, 105~107, 110, 112, 146, 149, 163, 164, 167~169, 178~180, 198, 199, 208, 222~224, 226~228, 230, 231, 235~239, 262, 264, 262~264, 273~281, 285, 287, 315, 316, 322, 323, 342, 345, 386, 403
- 鎮墓神 64
- 鎮墓神物 64
- 鎮墓武人(士)俑 21~23, 27~29, 33, 37, 63~65, 96, 105, 109, 112, 164~169, 198, 199, 222~226, 228, 230, 231, 235, 237~239, 262, 264, 273~275, 284, 285, 287, 315, 316, 319
- 鎮墓俑 11, 17, 18, 21, 23, 25, 32, 33, 63, 64, 66, 67, 72, 96, 105, 106, 112, 164, 170, 172, 199, 208, 209, 222, 228~231, 233, 263, 274, 275, 279, 284, 285, 287, 288, 313, 315~317, 320, 322, 342, 344, 345, 404
- つ
- 魑髻(椎髻) 101
- 通濟渠 232
- 筒袖 171
- 『通典』 356
- 坪ノ内徹 96
- て
- 低火度鉛釉 70, 207, 256, 263
- 低火度鉛釉器 11, 196, 197, 199~201, 203, 208, 209, 228, 255, 261, 262, 272, 282, 404
- 低火度鉛釉陶 258, 265
- 低火度鉛釉明器 205, 209, 285, 288
- 低火度鉛釉俑 285
- 程義 342
- 蹄脚 168
- 定県南関唐墓 316
- 鄭氏墓 238
- 定州 162, 197
- 鄭州市文物考古研究所 63, 71, 277, 284, 286
- 鄭仁泰墓 208, 209, 228, 274~280, 284~288, 319
- 鄭振鐸 7
- 泥象・泥像 4, 5
- 鄭德坤 7
- 鄭平墓 236
- 定窯 339
- 出川哲朗 284, 345
- 狄漢墓 169, 180
- 手づくね 22, 102, 106, 151, 385
- 鉄芯 102~104, 112, 172, 173
- 天関 342
- 田德元墓 238
- 天王俑(像) 284, 288, 322, 342, 344, 345, 348, 353, 390
- 「天寶四載」銘陶範片 345, 351, 386, 387
- 天宝年間 345~347, 350~355, 357, 387
- 田立坤 319
- と
- 唐安公主墓 346, 351
- 同一工房 165
- 透影白瓷 263~265, 313
- 東園局丞 3, 34, 165, 174, 223
- 東園秘器 3, 354
- 『唐会要』 63, 356
- 童家山墓 150
- 東京国立博物館 8
- 鄧県 72
- 鄧県画像磚墓 92, 94, 96~104, 107, 108, 112, 145, 147~150, 174, 231
- 当壙 342
- 簾座 343
- 東西两市 353, 354
- 唐三彩 5, 7, 17, 199, 200, 206, 208, 221, 258~260, 262, 265, 273, 275, 278, 282, 283, 285, 287, 288, 339, 353
- 唐三彩俑 16, 209, 210, 272, 275, 285, 287, 288
- 唐三彩窯址 342
- 東市 273, 387
- 童子 345
- 竇氏墓 166~168, 179
- 鄧州 93
- 唐青花 265
- 陶正剛 224
- 銅川黄堡窯 339, 342~344
- 頭体一体 172, 173
- 陶胎鉛釉 201, 202, 204, 206
- 頭体接合 102, 105, 109, 112
- 唐代壁画墓 351
- 頭体別制 19, 30, 172, 173, 345, 347
- 竇誕墓 274
- 東都 209, 265, 288
- 同範 28, 29, 31, 152, 165, 169, 170, 177, 206, 351, 357
- 陶範(型) 12, 16, 22, 23, 63, 102, 206, 225, 273, 276, 339, 342~345, 348, 349, 351~353, 355, 385~391, 404
- 陶範成形 12, 102, 104, 390, 391, 404
- 動物明器 348

動物模型	16, 104, 164, 173, 204, 208, 277, 279, 281, 386, 387, 390		
兜鍪	274, 344, 345		ね
董滿	322	寧夏回族自治区博物館	72
透明釉	202, 230	寧夏固原博物館	72
当野	342		は
東洋陶磁学会	318	ハイウエスト	231, 286
東洋陶磁研究所	7	裴子小娘子墓	351
東梁州	224	陪葬	278, 280, 284, 354, 355
豆慮建墓	345~347	陪葬品	287
常盤山文庫中国陶磁研究会	196, 254	陪葬墓	273, 282, 284, 287
土偶	5, 6, 8, 17	陪都→副都	
『讀史方輿紀要』	93	廢仏	228
土坑	387	毫県博物館	232, 237
独角獸	146	縛袴	20, 101, 167
独孤開遠墓	273	白行簡	4, 354
独孤羅墓	237	博興県博物館	314
礪波護	167	白瓷	11, 12, 196, 197, 200~203, 205~207, 210, 228~230, 233, 254, 255, 259~265, 278, 286, 288, 320, 342, 387, 404
杜文	351, 353, 356, 386	白瓷加彩俑	288
富田哲雄	5, 18, 170, 226, 231, 351, 385	白瓷胎	343
富田昇	5, 7	白瓷仏龕	314
	な	白瓷俑	12, 227~229, 232~234, 254, 263, 264, 286, 287, 313, 404
内丘県邢窯遺址	323	麦積山石窟	23, 30, 100, 101, 103, 104, 111
内丘県交通局家族楼邢窯遺址(陶窯遺址)	323	薄葬	96
内丘県城関邢窯遺址	323	白胎	228, 273, 286, 343, 387
内丘県城歩行街	314	白胎加彩俑	230, 263, 288
内丘県歩行街邢窯遺址	323	白胎俑	227, 229~231, 233, 286, 404
内丘西関窯址	313	白泥	259
内蒙古自治区博物館	222	白陶	317, 318
長広敏雄	5, 8, 225	泊頭市富鎮崔村唐墓	316, 320
奈良(国立)文化財研究所	30, 257, 261, 262, 282, 286, 339	白陶誕馬	275, 286
南・北秦州	93, 148	白陶仏	314
南京蔡家塘南朝墓(M2)	255	白釉	199, 207, 254, 260, 265
南京市博物館	150	白釉陶	255, 261
南京博物院	234	馬世之	228, 229, 264
南宮市后底閣遺址	314	長谷川祥子	339, 340
南水北調工程	286	長谷部楽爾	197, 200, 255, 275, 278
南宋官窯	391	破多羅太夫人壁画墓(M7)	67, 168
南朝絵画	94	馬忠理	163, 178, 256
南朝造像	111	髮髻	101, 103
南朝美術	145	馬蹄	69, 276
南朝文化	68, 100, 108, 109, 145, 257	濱田耕作(青陵)	4, 6, 7, 17
南朝文化圏	109, 110	原田淑人	7
南鄭	93	パルティア	28
南北境界地域(南北境界領域)	11, 72, 73, 91, 92, 151, 164, 173, 198, 403	半跏形	343
南陽地域(南陽盆地)	110, 151	板橋南朝墓	150
南和県東賈郭村唐墓	315~317	樊書海	314, 315, 322, 323
	に	半身俑(半身胸像)	347
二彩	199, 259	范粹墓	165, 170, 171, 179, 196, 200, 201, 206, 210, 223, 254, 255, 260, 261, 265
西アジア	22, 27, 199, 260	半倒炎式饅頭窯	387
二次焼成	203	半模制	16, 20, 102, 225
二大様式	161, 174, 196		

索引

- ひ
 ひとがた 5
 披帛 28
 鬢 347
- ふ
 V字形接合 102
 風衣 277
 封氏 164, 197
 封氏墓群 171
 馮松林 343
 風帽(俑) 172, 277~279, 315, 317, 322, 348
 武漢市博物館 150, 239
 伏臥俑 320
 伏羲 67
 服制改革 21
 副葬明器 3
 伏聽 316
 副都(陪都) 11, 69, 161, 163, 174~176, 196, 197, 203, 223, 260
 傅江 351
 武昌(M203) 150
 武昌(M481) 150
 武昌(M483) 150
 武昌吳家湾画像磚墓 149
 武昌東湖三官殿画像磚墓 150
 武成帝(高湛・北齊) 163
 伏せ型 70, 71, 73, 97, 199
 仏龕 314, 323
 仏教寺院 320, 344, 350, 352
 仏教石窟 103, 174
 仏教造像 3, 10, 15, 17, 33, 101, 110, 161, 314, 321
 仏教彫像・仏教彫塑 15, 18, 23, 30, 33, 104, 323
 仏教風俗 169
 武帝(梁) 148
 武定年間 166, 168, 175
 武寧陵 21, 32, 69, 105, 107, 163, 166, 178, 198, 223, 230, 279
 呼和浩特北魏墓 65
 古谷清 7
 プロポーション 167
 文安県麻各庄董満墓 315
 文献皇后 227
 文靜陵 163
 文宣帝(高洋・北齊) 21, 32, 69, 105, 107, 163, 166, 175, 178, 198, 223, 230, 279
 文帝(楊堅・高祖・隋) 198, 221, 228
 文明皇后馮氏 66, 261
- へ
 平髻 231, 232
 平康坊 386
 平康坊窯址 12, 273, 283, 341, 385~388
 并州 162, 163, 197, 223, 224, 260
 兵馬俑(坑) 3, 5, 8
- 辟邪 63, 67, 69
 北京芸術博物館 323
 北京大学賽克勒(サックラー)考古與藝術博物館 20
 別宮 163
 別都 69, 163, 197, 223
 ペルシャ系民族 28
 偏髻 99, 100, 112, 147
 扁袒右肩 169
 汴洛鉄道 5, 17, 339
- ほ
 褰衣博帶 21, 28, 171
 彭娟英 163
 抱犬童子 349
 鳳首瓶 281
 彭城 232
 庖厨操作 279
 豊寧公主(楊静徽)・韋圓照合葬墓 199, 225, 226, 238
 坊里制度 353
 北魏平城時期 15~17, 19, 22, 23, 26, 29, 30, 32, 33, 64~68, 72, 73, 97, 167, 169, 204, 209, 222, 257~259, 261, 265, 285
 北魏洛陽時期 24, 107, 109, 173, 209, 223, 255, 257, 262
 北魏洛陽遷都 11, 16~19, 21, 22, 26, 29, 32, 33, 35, 37, 38, 68, 70, 71, 97, 102, 106, 107, 109, 110, 151, 161, 167, 170, 173, 176, 204, 255, 259, 265
 北魏洛陽文化 163
 『北史』 175
 北周文化 227
 卜仁墓 237
 穆青 206, 229, 254, 256, 264
 北齊鉛釉器 210
 北齊鄴文化 234
 北齊三彩 199, 206, 265, 283
 『北齊書』 199, 227
 北齊美術 161
 北齊文化 161, 177, 197, 199, 206, 227, 234, 404
 北齊様式 226
 北朝青瓷 258
 北朝陶瓷 196
 北朝(北族・北方)文化 27, 73, 106, 110, 222
 →鮮卑文化も見よ
 幘頭 280, 313, 346, 348
 歩行状表現 100, 105, 106, 149
 菩薩像 101
 墓誌 25, 29, 96, 165, 166, 198, 278, 315, 355
 『簠室古俑』 6
 墓葬習俗・墓葬文化 64, 70, 96, 105, 204, 206, 288, 319
 墓葬制度 67, 199
 墓葬壁画 205, 231
 渤海封氏 38
 北方早期青瓷 202

北方(遊牧)民族	27, 67, 73, 163, 168, 176	釉下彩	259
墓門壁画	98	幽州	162, 197
墓籠	315, 316, 320, 322, 323	釉陶	201, 202, 210, 258
翻檐虚帽	348	釉陶俑	319
翻領	101	遊山群俑	346
		弓場紀知	8, 196, 206, 259, 339, 344
	ま		
正木直彦	6		よ
繭山松太郎	6	楊愛玲	229, 254, 260, 264
饅頭窯	201, 342	楊泓	9, 18, 63, 64, 67, 69, 161, 162, 164, 166, 222, 223, 226, 345
	み	楊温墓	208, 273~275, 279
右肩脱ぎ	169, 170	楊諫臣墓	348
水上和則	385	楊侃(侃)墓	279, 320
水野清一	8, 221, 272, 278	楊機墓	29, 37
ミニチュア俑	346	窯業技術	11, 209, 210, 265
MIHO MUSEUM	98, 275, 348	窯業生産	256, 264
宮川寅雄	4, 5	楊効俊	162, 175, 197
宮崎市定	227	窯址	10, 200, 203, 256, 257, 262, 341, 345, 353, 385, 387, 389
民営(民間)工房	4, 355, 404	楊子華	167
民窯	288	楊思勗墓	345, 347, 348, 351
	む	雍州	93, 148
無垢(実心)	102, 112, 225, 349	耀州窯	282
室山留美子	63, 64, 67, 72, 226	煬帝(楊広・隋)	233, 234
	め	楊堂墓	286
目跡	229, 259, 261	揺葉飾片	224
明器(制度)	161, 171, 175	葉麟趾	256
明器文化圏	316, 321	『俑廬日札』	6
明光鏡	27	楊和墓	282
	も	吉川忠夫	148
毛角	168	吉村菫子	63, 64, 66
『孟子』	4		ら
孟耀虎	281	『礼記』	4
木芯	103, 112, 347	雷君妻宋氏墓	345, 346
木俑	5, 16	雷勇	343
模型明器	16, 204	羅漢(像)	342, 344, 349~352
裳裾	23, 24, 171, 172	羅觀照墓	284
喪葬制度	17, 18, 171, 175, 199, 227	洛京陶	256
森達也	196, 199~201, 205, 207, 258, 259, 262, 265, 283, 284, 343, 352, 388	洛陽永寧寺	20, 23, 26, 33, 34, 99, 100, 103, 107, 111
門閤	164, 197	洛陽永寧寺塔基	30
	や	洛陽偃師前杜樓北魏石棺墓	22
八木春生	10, 18, 27, 31, 91, 99, 101, 108, 110, 145, 151, 164, 170, 171, 176, 198, 232	『洛陽伽藍記』	4
矢島律子	197, 203, 207	洛陽鞏義市康店鎮磚廠唐墓	63
安田鞞彦	6	洛陽古墓博物館	19, 32, 204
矢部良明	10, 351	洛陽市文物工作隊	18
山崎隆之	30	『洛陽出土石刻時地記』	25, 38
	ゆ	洛陽城(北魏)	19, 209, 259, 262, 265, 283, 288
兪偉超	347	洛陽城大市遺跡	202, 204~206, 258, 259, 261, 262, 265
熊焯	176	洛陽博物館	18, 28, 29, 32, 36, 37, 230, 231
		螺髻	171
		羅秀	347
		羅振玉	5~7, 17
		羅達墓	224, 236

◎著者略歴◎

小林 仁 (こばやし・ひとし)

1968年 東京都に生まれる
1991年 国際基督教大学教養学部人文科学科卒業
1994年 成城大学大学院文学研究科美学美術史専攻博士課程前期修了
1994～96年 中国政府公費留学生(高級進修生)として北京大学考古系に留学
1999年 成城大学大学院文学研究科美学美術史専攻博士課程後期単位取得退学
2013年 帝塚山大学人文科学研究科博士(学術)学位取得

1997年より大阪市立東洋陶磁美術館学芸員, 2007年より同主任学芸員, 現在にいたる。
専門は東洋陶磁史, とくに中国陶磁史。
第35回小山富士夫記念賞(奨励賞)受賞

[主要論文]

「中国・南京出土の三国呉の青瓷鉄絵に関する諸問題」(『東洋陶磁』第38号, 2009年),
「“澄泥為範”説汝窯」(『故宫博物院院刊』2010年5期) など

ちゆうごくなんぼくちゆうぜいととうよう けんきゆう
中国南北朝隋唐陶俑の研究

2015(平成27)年2月28日発行

著者
小林 仁

発行者
田中 大

発行所

株式会社 思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 電話 075(751)1781(代)

定価: 本体13,000円(税別)

装 幀 上野かおる
印 刷 本 亜細亜印刷株式会社
製 本

©H. Kobayashi, 2015

ISBN978-4-7842-1790-8 C3072